



# たもんじ 交流農園

2023年3月号

遂に!!  
Vol.60



60号記念寄稿

## “感じること・つくること” 満載のコミュニティに期待!!

祝★連載60回おめでとうございます！末永く続けられるように盛り上げていきたいと思います。記念の回に恐縮です、今年からお世話になってます干場晃(ほしばあきら)です、よろしくお願いいたします。

簡単な自己紹介させてください。葛飾区在住の会社員で、中1・高2・専門2の子育て中の父です。ある程度手はかからなくなったけど、お金ばかりかかる47歳です。平日は毎日品川で働き、土曜日は寝不足と身体疲れをリセットしつつ家族サービス、日曜日だけフリーな日って、結構あるあるな感じのサラリーマンじゃないでしょうか？今年、たもんじ交流農園さんにご縁を頂き、お手伝いに行っていますが、家では、娘にまたボランティア？バイトとか行けばいいのに・・・《父・苦笑》



今回の寄稿を依頼されたときに、あらためて参加させてもらった動機や魅力を考えてみると、仲間と新しいアイデアを話して、どんどん人をまきこんでやってしまう所かと。都会の真ん中で、地元の仲間と野菜作ったり、ホタル育てたり、再生可能エネルギー導入したり、まさに消費者じゃなくて生産者であり創造者!!

最近話題のAIの対話型AI「ChatGPT (チャット GPT)」ってご存じでしょうか？ AIがMBA受験問題を突破した記事があり、ソフトはタダで公開されているようです。この先の時代はAIに頭では敵わないので”感じること・つくること”がますます重要です。【緑】・【作業】・【農】そして【学び】、たもんじ交流農園コミュニティは、”感じること・つくること”の要素が満載です。



御前裁畑プロジェクト

『学びは3つのHのバランスが大事』私の好きな本、サティシュ・クマール著「エレガント・シンプルシティ」の一節です。head 頭 {考えること} heart 心 {感じること} hand 手 {つくること}、手は偉大な贈り物、料理・モノを作り・書き・抱く・切り開くことができます。サティシュ・クマールはこうも言っています。「人生そのものが巡礼です、関係を求めた旅路、何が得られるか期待しないで歩くこと、何を与えられるか、巡礼に出るとは与えて返していくということ、誰でも貢献できるんです」と。

### 《私が、たもんじ交流農園に参加を希望した背景》

「私たちはどこにいるか？」 安全で快適に暮らしは整備され、経済成長は完了した。

「私たちはどこへ向かうのか？」 社会がよく見えなくなった今、地域で自然と共生する暮らしに。

「私たちは何をするのか？」 地元の仲間とレジリエンスなコミュニティを創る。

### 《私が、たもんじ交流農園で学びたいこと》

- ・ 種から野菜を育てること (食べられたり・枯らしたり)、種取りしてまた作ること
- ・ 再生可能エネルギーの知識や農園内のDIY・土木・手仕事等
- ・ 交流農園の運営・マネジメント、もちろん地域活性化のための飲み会も含め(笑)

### 《私が、たもんじ交流農園で実践したいこと》

- ・ ホタルプロジェクトとその先の、御前裁畑プロジェクトワークショップ・企画デザイン
- ・ パーマカルチャー菜園・協生農法・オフグリッド(電力の自給自足)



2022夏、南房総のフィル・キャッシュマンさんのパーマカルチャー菜園視察の風景

最後にお知らせです。たもんじ交流農園も紹介されている「アーバンファームガイドブック」が春に発売されます。クラウドファンディングも実施されていますので、興味のある方は覗いてみてください。

今後ともよろしくお願いいたします。



# 3/5(日)かいぼりイベントが開催されました！

ほたるのすみかプロジェクトの最大のヤマ場である「かいぼりイベント」が3/5(日)開催され、森山墨田区観光協会理事長をはじめ、武蔵野大学環境システム学科橋本教授と学生の方、プロジェクトメンバー、農園会員の方とそのお子様たちなど大勢の参加者で、終日賑わいました。

かいぼり(掻い掘り)とは、池や沼の水をくみ出して泥をさらい、魚などの生物を獲ることです。イベントでは先ず牛久さんによる「池にいるかもしれない生き物」の説明があり、その後、みんなで池の水をすくっては、スポイドで小さな生き物を救出、いくつかのケースに集めることを繰り返し、時間をかけてですが、なんとか池の水を全部抜き切りました。



## かいぼりイベントをやってみて 牛久光次さん(FaceBook より)



様子見のはずだったゲストの方々も加わり小さい又マエビの幼虫？を取り残さないようにとスポイトとスプーンで真剣に救ってくれました。メダかいたー♪ 又マエビいたー♪ タニシとヤゴも ワイワイ賑やかに楽しい日でした。池の水全部抜き、ヘドロも出し天日干し中。生物の解説者を専門家の先生を探しておりましたが都合わず。しかし、なんと思いがけぬ大先生が現れた♥なんと小2の子！



自称元生物研究者。今は別な研究をしてるそうです😊

## かいぼりイベントに参加して 松井玲於奈さん(まついれおなさん、小2、こひつじげんき食堂社長)

Q どんな虫がいましたか

れ あかむし に めだか に むまえび がいました

Q ほたるのためには いちゃいけない生き物ってありますか

れ あかむしは捕った方がいいかなあ

Q あかむしは外来種？

れ いや、あかむしは外来種ではありません。あれは力の幼虫で昆虫なんですけど、ホタルとは共存できないと思いますね。

Q この先どんな池になったらいいと思いますか

れ 安全でほたるや虫にとってよい池になってほしいです。

Q この農園で池以外のところはどう思われますか？

れ とってもよいです。全部の場所がですよ、嬉しいです。野菜が特にいいですね。

Q この先池ができてからもまた来てくれるかな？

れ もちろん来ますよ!!



## かいぼりイベントは大成功 松本正毅さん 全体企画設計・作業担当



本日は、武蔵野大学の橋本教授のご指導のもと、池の生物をみんな取り出して、池の水を全部抜くということを実現しました。生き物の博士がいたのが小学2年生だということでびっくりしましたが、生き物としては、又マエビ、オオタニシ、ヒメダニシ、あとヤゴもいましたね、

来週、底に防水シートを敷いて、水を戻して、生き物を戻してあげる予定で、取り出した生き物は、この時期だからまだ少ないと思いますけど、新しい池では井戸から水を汲んで、水車も作って、ポンプで水の循環もさせていくので、春を過ぎたらもっといっぱい増えることになるだろうと思います。本日のところは順調、大成功ということですね。



Q 今日のイベントに参加してどうでしたか

花 池の水を全て無くすという経験は初めてで、思った以上に時間も体力もかかって、今日一日で終わるかなと思っていましたけど、みなさんと一緒に無事水を抜くことができ、今は一安心です。

Q 生き物はどうでしたか

花 最初、いても数匹かなと想像していたのですが、実際に探してみると、めだかだったり、エビだったり、タニシだったり、特にエビはものすごい数がいて、他の水槽に移すことが終わりが見えない作業でしたけど、こういう見えないところにも沢山の命があるんだなという発見にもなりまして、すごい身近なところにもこんなに命があるんだなと、この年齢になって改めて気付いてよかったなと思いました。

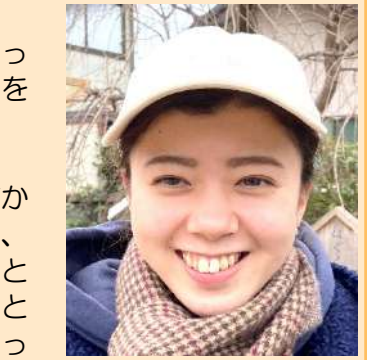


Q この農園全体を見てどう思われましたか。

花 初めて来たときは新参者なので緊張して、元からいた人の中に入れんじゃないかという不安があったのですが、みなさんすごい暖かい方ばかりで、すごい歓迎してくださって、こういう子どもからお年寄りの方までみんなと話すことができるという場があることって、すごいステキだなって思いましたし、こういうコミュニティの場があるということは、自分の居場所というか、安心感も生まれました。

Q これからこの農園に期待することとかありませんか。

花 今日朝早く来たときに、お花の世話をしている人がいて、いろいろなお花の説明をして頂きました。そして花は咲く時期がみんな違うので、いろいろな景色を見て欲しいと言って頂いたのですが、私はまだ2回しか来たことがなく、冬から春にかけての景色しか見たことがないので、これからいろいろな四季折々に変わるたもんじ交流農園を見てみたいなあと思いました。



かいぼりイベントに参加して 田村直巳さん 絵本作家、漫画家

Q 今日参加されてどうですか

🐾 徐々に自然と触れ合えてよかったです。ただカエルがいなかったのが残念です。もっといるかと思っていたけど・・・。



“てらたま農園部から”

第16回～みんなちがって、みんないい～

寒さ厳しい2月3日、寺島なすの「ポケット温室」栽培を開始。今シーズンの寺島なす栽培の前準備である。濡れたティッシュに種を挟みビニル袋に入れて、夜はパジャマのポケットに、昼は室内に放置して数日、右写真のように芽が出たところでセルトレーに埋めたのが2月9日。



1カ月後の3月9日の写真が左の2枚。右のトレーの大きいものはもう本葉が4枚になっている。そしてその左側の箱は、芽が出ないまま2月6日に種まきしたものだが、「温室」内の3日の違いでこれだけの差が！そして、よく見ると苗の一つ一つ、みんな表情が違っている。種もそれぞれ形が違っていたから、それと関係があるのかしら？



大きいのも小さいのも、本葉の形もそれぞれ、双葉がとても大きいのに本葉はまだ小さ～いもの、どれもみんないいとおしく、「みんなちがって、みんないい」と金子みすゞの詩のフレーズが思わず口に。



2022 夏の「寺島なす★祭り」に参加して頂いたお店のご紹介シリーズ！

### 第6回 酒呑童子

墨田区東向島2-30-11-1F

03-3619-1676

【レポーター自己紹介】中小企業診断士の熊谷友貴です。2022年におこなった第1回「寺島なす★祭り」では、司会を務めさせていただきました！

【お店の行き方】曳舟駅から徒歩1分、一本入った路地裏にあります。

【お店の雰囲気】なまはげのお面に出迎えられ中に入ると、活気あふれる店内！カウンター席とテーブル席があるため、おひとり様から宴会まで楽しめます。

【寺島なすのメニュー】8月終わり頃までは、寺島なす★祭りでも出されていた「寺島なすとハタハタの南蛮漬け」や、「寺島なすときりたんぽの揚げ出し」などのメニューを出されていたそう。寺島なすは、とても油に合って揚げるとトロトロで美味しくなるのがポイント！とのことです。

【今の季節のイチオシメニュー】冬から春先のこの時期は、せりを使った料理がオススメだそうです。特にせりの根っこまで美味しくいただけるのはこの季節ならではの「せり根の天ぷら」も美味しそうでしたが、私は「きりたんぽ鍋」でいただきました。せり根は香りとほろ苦さのバランスがよく、とても美味しかったです。きりたんぽ鍋が1人前から頼めるのも嬉しいポイント！

【総評】活気あるお店でいただく秋田料理、雰囲気も味も最高でした。ナシュランはもちろん満点「🍆🍆🍆3つ」です！！



曳舟駅から徒歩1分



いつもパワフル！坪井社長



ご存知!! きりたんぽ鍋



㈱クルーズHP



HOT PEPPER

## 「2023年 ほたるのすみかお披露目&感謝祭&お花見」のご案内

1月から毎週ワークで進めてきた”ほたるのすみかプロジェクト”の完成お披露目と、その資金をふるさと納税クラウドファンディングにてご提供頂いた皆様に感謝し、更にはお花見を兼ね、久々のピザ窯フル回転での「2023年ほたるのすみかお披露目&感謝祭&お花見」を開催致します。皆様方のご参加を心からお待ちしております。

日時：2023年4月9日(日) 11:00~14:00

参加費用：大人1,000円/人 子供(小学生以下)500円/人

(ピザ窯でのピザ焼き・焼き芋&焼きそばパーティ、飲み物付(アルコール別売)、農園会員は2人まで無料)

水口アドバイザーご指導日:4月9日(日)5月7日(日)10:00~

農園部作業日:毎週日曜9:00~

(その前に)ほたるのすみかプロジェクトワーク仕上げ 3/21(祝) 自然エネルギー作動テスト、水草植え(3/末まで調整等)、3/25(土) 14時~そよ風広場にて家庭用ほたる上陸羽化、ゲージワークショップ、3/26(日)そよ風広場にて「ほたるのすみかプロジェクト」上映発表会(すみだNPO協議会フェスティバル内)



たもんじ交流農園便り  
No.60 般 2023.3.20 発行  
題字 田村風来門  
編集 末林和之



てらたま協議会  
(NPO 法人 寺島・玉ノ井まちづくり協議会)  
問い合わせ先 小川 剛(080-3421-3115)  
セブン-イレブン記念財団 (2019年に助成金を頂きました)

